

「未来の人に伝える事」

日高小6年 中村 隆志

ぼくは、2004年10月20日に床下しん水のひ害を受けました。ぼくの住んでいる日置は、日置でも階段の7段まで上がった所もあります。その家の人に話を聞くと、とってもおそろしく、こわかったそうです。思い出したくないけど、みんなに台風のこわさやおそろしさを伝えなければならぬ。なぜかというのと、たとえば、台風で洪水だった時に、どのように対応するか、どのように工夫して町を守っていくかを未来の人に伝えなくてはならないと思う。

台風的一年後にメモリアルデーをして、クラスみんなで話し合いました。豊岡の方では、ていぼうが、てっかいしたり、家が流れたり、本当にこわかったと思います。日高町では、朝倉や赤崎などがすごくひ害を受けました。赤崎の友達は、

「どんどん水が家の中に入ってきて、2階に登っていても、水が上ってきて、もう最後のしゅだんで、天井に登って、ふるえてあの夜をすごしていた。とっってもこわかったわろ。」

と言っていました。だから、これからの水害に対して、改善されることが必要だと思います。